

パネル発表「全国の自治体・獣医師会の学校支援のための連携状況」

中川美穂子

1 はじめに

平成元年以来、学校等の動物飼育を子供達の教育に役立てるために、全国の開業獣医師が診療の傍ら関わっている。多くは我が子が通いだした時点でその教育施設の飼育を支援し始めることが見られ、やがて地域として教育委員会等と獣医師会の連携につながってきているところが多い。

2 現在の連携数

平成17年10月現在、自治体に関わる連携は28都府県に渡る112連携事例(91市区町村と12都府県9政令都市)705市区町村が確認されている。

- (都道府県)
 茨城県 群馬県 福岡県 東京都(20校限定) 滋賀県 岡山県(23校限定) 山梨県 福島県 栃木県 奈良県* 徳島県(限定) 広島県*
 (政令都市)
 横浜市 川崎市 千葉市 福岡市 京都市 神戸市 さいたま市 北九州市* 大阪市(市区町村)
 岐阜県) 美濃加茂市 岐阜市 中津川市 美濃市 関市 掛斐川町 八百津町 坂祝町 川辺町 大垣市 柳津町 神戸町 山県市 高山市 武芸川町 可児市 土岐市 各務原市
 (東京都)
 渋谷区 小平市 西東京市 練馬区 日野市 清瀬市 板橋区 武蔵野市 江戸川区 世田谷区 目黒区 八王子市 調布市 東久留米市 杉並区 町田市 稲城市* 品川区 多摩市* 小金井(学芸大小金井)

- (栃木県) 佐野市 茂木町 真岡市 大田原市 小山市 足利市 さくら市(氏家町喜連川市)
 (神奈川県) 相模原市 秦野市 藤沢市 茅ヶ崎市 大磯町 海老名市 小田原市 座間市* 大和市* 綾瀬市
 (埼玉県) 蕨市 戸田市 所沢市 川越市 新座市 久喜市 志木市
 (千葉県) 柏市 市川市 習志野市 船橋市
 (石川県) 金沢市 内灘町
 (静岡県) 浜松市 浜北市* 静岡市*
 (新潟県) 新潟市
 (青森県) 八戸市
 (宮城県) 石巻市
 (茨城県) 阿見町
 (山梨県) 笛吹市
 (愛知県) 豊川市 岡崎市 安城市 豊田市
 (兵庫県) 明石市 西宮市
 (京都府) 宇治市*
 (大阪府) 高槻市* 東大阪市*
 (滋賀県) 安曇川町 大津市
 (三重県) 四日市市
 (徳島県) 徳島市(県児童課と)
 (愛媛県) 松山市
 (長崎県) 佐世保市*

*印は、治療などについて連携しているが、現在のところ教育委員会主催の講習会への講師料以外に獣医師会への予算ない。

また、小金井市の事例は、市行政との連携ではなく、学芸大学附属幼稚園と小学校が、附属小として初めて地域獣医師会と連携した事例。

なお、学校は直接費用を負担しないシステムである。

3 連携のある地域の公立小学校学校数と関わる獣医師の数(下図)

全国 112連携事例(12県 9政令都市 91市区町村)の全合計

	管内学校等数 (時に園中含む)	動物を飼育中の施設 (モデル校で集計)	開業の 獣医師会員総数	活動している獣医師会員
全国全例	9,372	6,161	5,463	3,273

自治体と獣医師会との連携がある地域の公立小学校は10,000近くあるが、獣医師会や自治体がモデル校を定めて対象数を限っている地域もあるため、対象の学校等は6,000を超えた處であり、その中の開業の獣医師会員は約5,000いるが、実際に活動体制になっているのは3,273名である。

4) 学校獣医師の活動目的

①「子どもが動物に情を感じる飼育」を実

現するよう、助言・支援する。子どもたちが「世話は面倒だけど可愛いからほって置けない」と感じられる飼育に。

②人と動物にとって心地よい環境管理法を伝える環境衛生や食品衛生などの知識で、必要な衛生維持法を伝える。

③学校が飼育のことで、社会から責めを受けないように助言・支援する。

(全国学校飼育動物獣医師連絡協議会主宰)